

## ○アンケート結果について

回収率が88%と高く、自由記入欄（質問9～11）の記入率も82%と高いことから、出席した農業者の関心の高さがうかがえた。

回答者のうち農業に取り組んでいる方（以下「実施者」）は58%と、取り組んでいない方（以下「未実施者」）よりも多かった。環境にやさしい農業に取り組むうえでの課題については、実施者と未実施者で傾向が異なった。実施者は「労力」の割合が多く、未実施者は「技術」の割合が多かった。このことから、未実施者にはまず何から手を付けるべきか不安があり、一方実施者は、技術はあっても実施する際の労力に課題を感じていることが読み取れた。また、「販路」と答えた割合にも差があったことから、実際に取り組むと予想以上に販路開拓の難しさが実感されることが読み取れた。

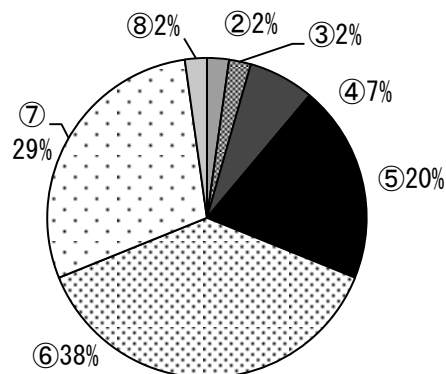
行政への要望としては、消費者と結びつくきっかけ作りや農業者間の情報交換、環境にやさしい農産物をPRしたブランド化などが寄せられた。現実的なもの、効果の高いものについては取組を検討したい。また、今後の講演会の内容については、環境にやさしい農業実践者の成功事例発表の要望が多かった。

「非常に有意義」「どちらかといえば有意義」と答えた方が全体で67%であり、おおむね好評果であった。また、無回答が31%であった。慣行農法とは正反対の内容であったことから、評価に苦慮したものと考えられる。

○アンケート集計結果（回収率：88.2% 45/51）

1. ご年齢（n=45）

①10代	0
②20代	1
③30代	1
④40代	3
⑤50代	9
⑥60代	17
⑦70代以上	13
⑧無回答	1

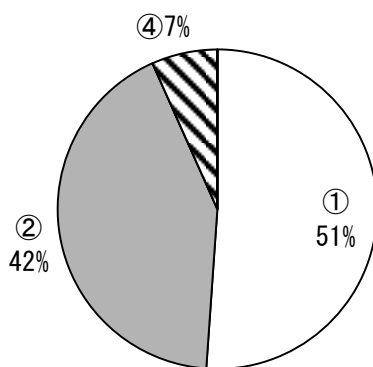


2. 農業とのかかわり方（n=45）

①販売農家	23
②家庭菜園	19
③市民農園	0
④その他	3
⑤無回答	0

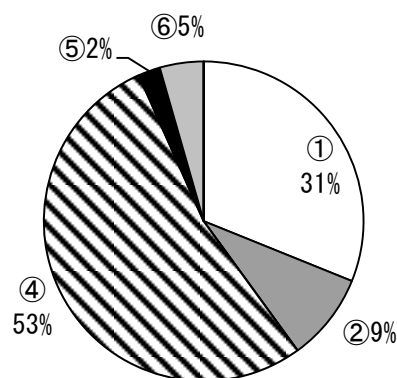
【その他】

- ・農家の後継者（現在は手伝い）
- ・安曇野農業塾、勉強



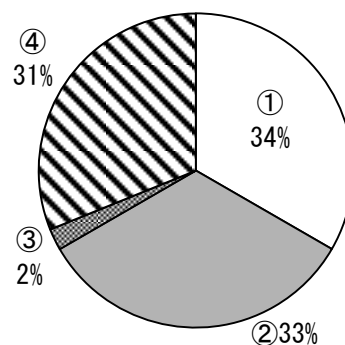
3. 本日の講演会をどのように知りましたか？（n=45）

①案内通知	14
②市職員から	4
③知人から	0
④広報あづみの	24
⑤ツイッター	1
⑥新聞	2
⑦その他	0
⑧無回答	0



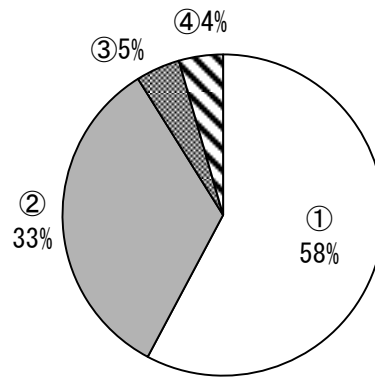
4. 本日の講演会は有意義でしたか？（n=45）

①非常に有意義	15
②どちらかといえば有意義	15
③有意義でなかった	1
④無回答	14



5. 環境にやさしい農業に取り組んでいますか？ (n=45)

①取り組んでいる	26
②これから取り組みたい	15
③取り組んでいない	2
④無回答	2



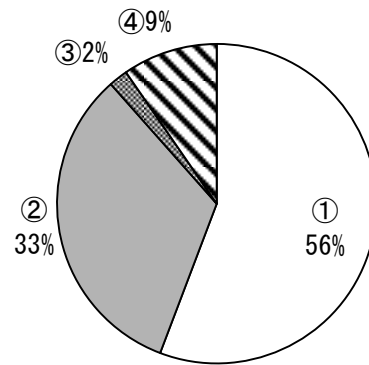
6. 5で①、②と答えた方にお伺いします。どのように取り組んでいますか？又は取り組みたいですか？

(複数回答可) (n=41)

①有機農業	29
②化学農薬・化学農薬 50%減	17
③その他	1
④無回答	5

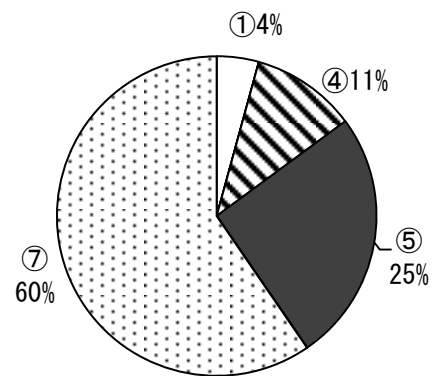
【その他】

・なるべく有機を使うことにしている



7. 環境にやさしい農業に関する認証等を取得していますか？又は取得したいですか？ (複数回答可) (n=45)

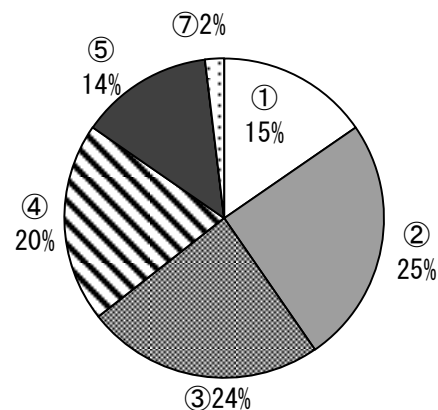
①有機 JAS	2
②特別栽培農産物	0
③長野県原産地呼称管理制度	0
④信州の環境にやさしい農産物	5
⑤エコファーマー	12
⑥その他	0
⑦無回答	28



8. 環境にやさしい農業を実施するうえで、課題となることはどのようなことだとお考えですか？ (複数回答可)

(n=45)

①経費	16
②労力	26
③技術	25
④情報	21
⑤販路	14
⑥その他	0
⑦無回答	2



## 9. 課題解決のため、行政にどのような支援・取組等を求めますか？（原文ママ）

- ・有機 JAS、エコファーマー等の取得農業者への優遇措置（主に JA が取組んでほしい）
- ・売り先がないのに生産はできない。→生産者と売り先を結ぶ取り組みを行ってほしい。
- ・もしなければ、完全に無農薬・無化学肥料専用の市民農園を作ってほしいです。
- ・安曇野市独自のブランド認定がほしい
- ・情報発信
- ・農園見学会
- ・認証や環境保全型農家として補助金も受けていますが、そのような農家を公表することで消費者とつながるのでは？手伝いたいという人とも
- ・学校給食、介護施設等地元の野菜を使っていただけのようなルートを作ってほしい。
- ・有機農法で作物を作っている農家への支援（助成金？）販路拡大の為の支援
- ・有機栽培向種子のあっせん情報（実績のあるもの）
- ・販路、情報ブランド化をさらに推進して欲しい
- ・環境に易しい防虫・防草の方法に関する情報提供若しくは情報交換の場の提供
- ・消費者の意識（見栄えの良い食物、野菜→環境に配慮した食物、野菜）教育
- ・安曇野市全体で声かけして取り組み、観光（土産）、特産、安心安全な農業 安曇野市の目玉にする。
- ・積極的に農業者を募り、安曇野を盛り上げていく。
- ・実行者の広報による紹介、表彰、市民間での交流促進
- ・講演会のレポートを公表してほしい。
- ・有機農業技術の普及（実践農家の紹介と技術情報の提供）
- ・人材バンクの運用（農政との連携）
- ・モデルとなる畑（有機農業）の紹介
- ・指定農家の指定
- ・自然農法の実演講習会
- ・モデル農場を作り、見学できるようにする。
- ・有機農業用の種子や苗の供給システムを作ってほしい
- ・有機農業等の相談（技術的な）に乗ってくれるような団体、人の情報の公開
- ・ある程度長期的な取り組みが必要かと思います。
- ・有機農産物を地域でブランド化してはどうか。

## 10. 来年度も講演会を計画しています。内容・形式等にご要望があればご記入ください。（原文ママ）

- ・こちらに移住して詳しくないので、安曇野の地にてきした作物や、さらに実践的な内容を教えていただきたいです。
- ・農業、肥料の関係 どのように取り入れたら環境にやさしい野菜作りとなるのか？もっと詳しく、経済的には？
- ・時期をもう少し早めに
- ・時間割を明らかにしタイムキーパーを置いて下さい。資料配布を行うのであれば、部数確保のため申込制にすべきでは？
- ・実践者体験談等
- ・具体的な使用しても構わない薬、肥料の説明

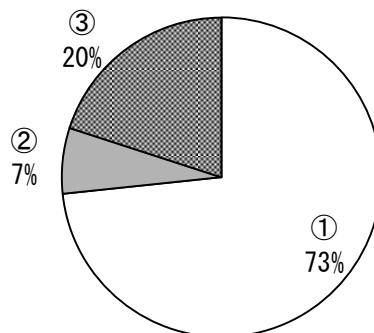
- ・モミガラを敷きわらにした場合の良否
- ・環境に配慮した農業実践をされている方の講話を希望致します。
- ・微生物に関する内容があれば聞いてみたいです（土壌学者の方など）
- ・実際にやさしい農業を行っている方からのお話（成功例）
- ・実践農家の事例発表会の開催
- ・実際に行っている人の話を聞く。具体的なやり方の講習。タネ、苗の販売場所の紹介
- ・家庭菜園程度の面積なら良いが少し規模が大きいとどうでしょうか。その場合の対応は？
- ・地域として有機農業で成功している例を知りたい。
- ・TPP を控えた、新しい農業への取り組み（どのような作物をとり入れたらどうかなど）
- ・見学等ができれば幸いです。

11. 講師への質問等、ご自由にご記入ください。（原文ママ）

- ・野ねずみ、もぐら対策はどうするの？みみずが増えともぐらが増える→もぐらが増えればねずみが増える。
- ・収量に影響が少ない雑草、多い雑草について詳しく聞きたい
- ・不耕起畑にする時の留意点と、管理方法を詳しく知りたい
- ・個人農家はもちろんだが、企業経営農家が有機農法で作物を作るシステムを考え、進めてほしいと思います。

12. 今後、環境にやさしい農業関連の情報の提供を希望しますか？（n=45）

①希望する	33
②希望しない	3
③無回答	9



○すでに環境にやさしい農業に取り組んでいる方と取り組んでいない方で回答の傾向が異なったもの

8. 環境にやさしい農業を実施するうえで、課題となることはどのようなことだとお考えですか？（複数回答可）

	実施者	未実施者
①経費	8	8
②労力	18	8
③技術	14	11
④情報	12	9
⑤販路	11	3
⑥その他	0	0
⑦無回答	0	2

